平成24年度12月期（第5期）
通期決算説明会

平成25年2月18日
ラクオリア創薬株式会社

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

自己紹介：谷　直樹

1948年	京都に生まれる
1973年	京都大学大学院　農芸化学専攻修了
1973年	藤沢薬品工業(株)（現アステラス製薬(株)）入社 中央研究所にて新規抗生物質探索に従事
1978年	同社　研究開発本部企画室/医薬品開発申請および ライセンス業務を担当
2000年	同社　グローバル経営戦略本部　ライセンス部長
2005年	アステラス製薬(株)　経営戦略本部　ライセンス部長・参与
2006年	奈良先端科学技術大学院大学　TLO部特任教授
2010年	ラクオリア創薬(株)入社　執行役員(事業開発担当)
2011年	同社　常務執行役員(ライセンス担当)
2012年	同社　代表取締役

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

目次

平成24年度12月期 通期実績	7
平成25年度 予算	10
ラクオリアの戦略とプログラムの進捗	12
ラクオリアの「強み」と「魅力」	19
導出済みポートフォリオの状況	26

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成25年度の最新ニュース

1

- 01.07 – 株式会社AskAtの設立登記完了

2

- 02.01 – インタープロテイン社との蛋白質間相互作用を標的とした創薬研究に関する共同研究契約締結
- 02.01 – 株式会社AskAtの事業開始

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成24年度上半期のニュース

- 01.26 – アシッドポンプ拮抗薬の韓国における特許査定
- 02.08 – 統合失調治療薬ジプラシドンの日本国内における臨床第II相試験開始
- 02.29 – 5-HT_4受容体部分作動薬の第I相試験開始に関する承諾
- 03.14 – アシッドポンプ拮抗薬の中国における特許査定
- 04.24 – 5-HT_{2B} 拮抗薬の前臨床開発ステージへの移行
- 06.01 – 5-HT_4受容体部分作動薬の臨床第I相試験を英国で開始

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成24年度下半期のニュース

7

- 07.23 – EP4拮抗薬の医薬品原薬開発契約の締結

- 07.25 – EP4拮抗薬の日本における特許査定

8

- 08.01 – 東京大学大学院医学系研究科コンチネンス医学講座との共同研究契約延長

9

- 09.14 – モチリン受容体作動薬の開発段階への移行

10

- 10.31 – 味の素製薬社との特定のイオンチャネルを標的とした創薬研究に関する共同研究契約の締結

11

- 11.06 – 5-HT_4受容体部分作動薬の臨床第I相試験の終了

12

- 12.20 – イーライリリー社（米国）との鎮痛薬の共同研究期間の延長

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成24年度12月期　通期実績

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成24年度12月期　通期　損益計算書

（単位：百万円）

	平成24年12月期	平成23年12月期	前年比	
	（実績）	（前年実績）	増減	増減率（%）
	通期	通期		
事業収益	28	684	△655	△96%
事業費用	2,665	2,600	65	2%
営業損失	△2,636	△1,916	△720	△37%
経常損失	△2,891	△1,906	△985	△51%
当期純損失	△2,905	△1,916	△989	△51%

決算ハイライト

- 事業収益は対前年比で96%の大幅減少。
- 内容的には味の素製薬社との共同研究契約一時金、イーライリリー社からの共同研究の対価の一部ほか
- 事業費用については、2,665百万円、対前年比で2%増
- 営業外損失として、米国アラタナ社株式に対する「投資損失引当金」260百万円を計上

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成24年度12月期　通期　貸借対照表

（単位：百万円）

	平成24年12月末		平成23年12月末		増減率（%）
	（実績）	構成比（%）	（前年実績）	構成比（%）	
流動資産合計	5,090	93%	7,783	93%	△35%
現預金	4,890	89%	7,672	92%	△36%
その他	200	4%	111	1%	80%
固定資産合計	411	8%	596	7%	△31%
有形無形固定資産	122	2%	94	1%	30%
投資・その他	289	5%	502	6%	△42%
資産合計	5,501	100%	8,379	100%	△34%
負債合計	191	4%	205	2%	-
純資産合計	5,310	97%	8,174	98%	△35%
負債・資本合計	5,501	100%	8,379	100%	△34%

決算ハイライト

- 現預金残高は事業収益が大幅に計画を下回った結果、前年比で△28億円（△36%）
- 投資、その他は主に投資有価証券の476百万円に対する投資損失引当金260百万円の計上により前年比で42%減少
- 前年比で純資産が2,864百万円（35%）減少している要因は当期純損失2,905百万円によるもの

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成25年度 予算

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

平成24年度実績と平成25年度計画

（単位：百万円）

	事業収益	事業費用	営業損失	経常損失	当期純損失
平成25年度　予算	1,014	2,169	△1,154	△1,147	△1,151
平成24年度　実績	28	2,665	△2,636	△2,891	△2,905

（注）：平成25年度　予算は連結業績予想数値を記載しております

平成25年度の事業収益

導出による契約一時金収入

- 5-HT$_4$部分作動薬（RQ-00000010）（Global）
- COX-2 阻害薬（RQ00317076）（中国・韓国）

プロジェクト進捗によるマイルストーン収入

- 共同研究 開発化合物決定（イーライリリー社）
- グレリン受容体作動薬（RQ-00000005）安全性試験開始（アラタナ社：動物薬）
- アシッドポンプ拮抗薬（RQ-00000004）フェーズⅡ投与開始（CJ第一製糖社）

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

ラクオリアの戦略とプログラムの進捗

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（1）ラクオリア創薬の事業領域と戦略

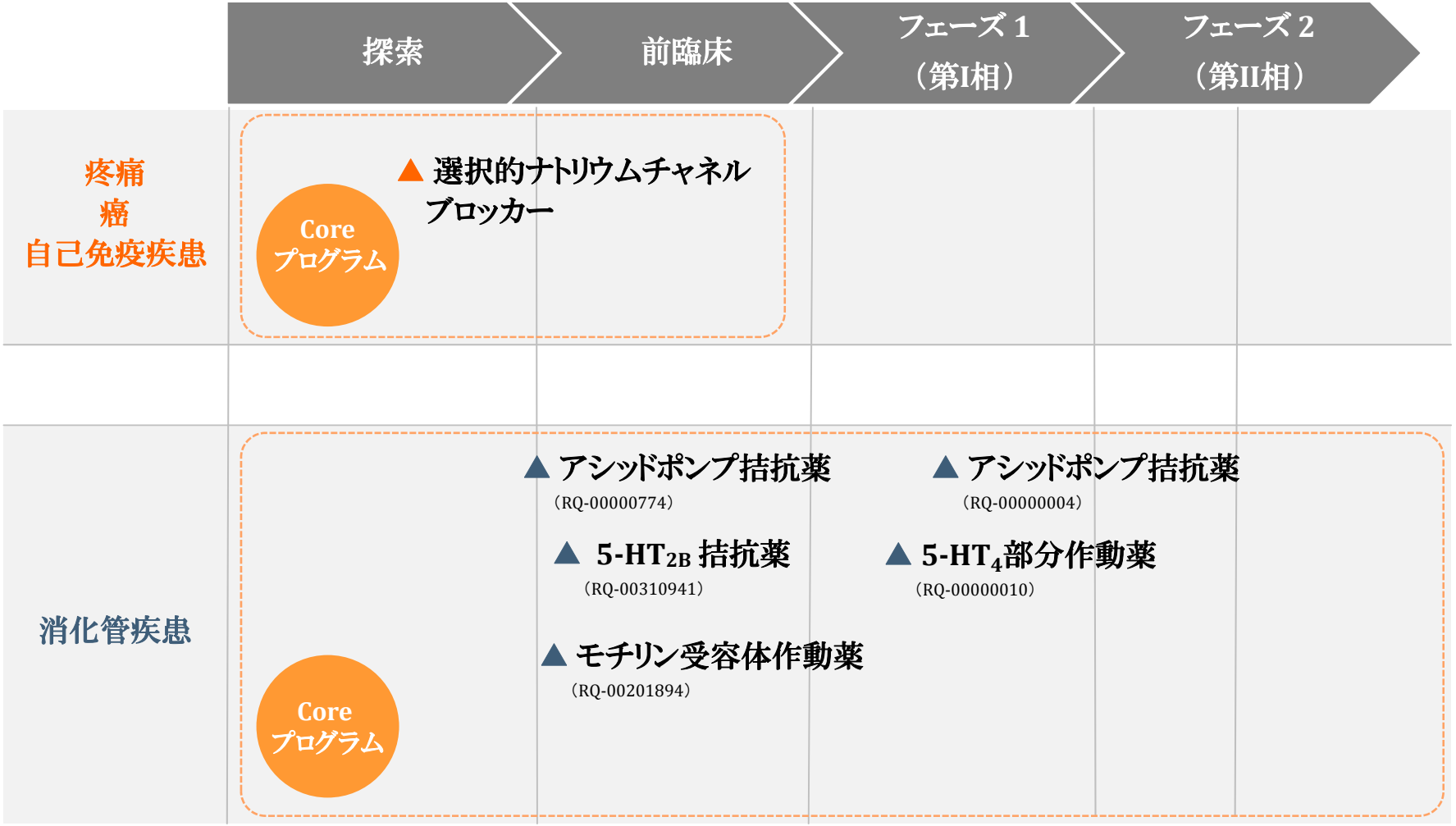


1. “創薬力”の強化と継続的な開発候補品の創出
2. 探索段階からの共同研究の推進
3. 開発プログラムの「選択と集中」

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（2）主な研究開発ポートフォリオの状況
– 導出候補プログラムとステージ

2013年2月現在



Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（3）主な契約締結済み研究開発ポートフォリオの状況

2013年2月現在

共同研究

プログラム	共同研究先	想定疾患領域
特定のイオンチャネル	Eli Lilly and Company（米国）	疼痛
	味の素製薬株式会社	消化器系疾患領域

導出

プログラム	化合物コード	導出先	権利
EP_4 拮抗薬	RQ-00000007	丸石製薬株式会社	日本、韓国、中国、台湾（注射剤）
		Aratana Therapeutics Inc.（米国）	全世界（動物薬）
アシッドポンプ拮抗薬	RQ-00000004 RQ-00000774	CJ 第一製糖株式会社（韓国）	韓国、中国、台湾
グレリン受容体作動薬	RQ-00000005	Aratana Therapeutics Inc.（米国）	全世界（動物薬）
ダルババンシン（抗MRSA抗菌剤）	RQ-00000002	Durata Therapeutics Inc.（米国）	日本
ジプラシドン（統合失調症・双極性障害薬）	RQ-00000003	Meiji Seika ファルマ株式会社	日本
5-HT_4 部分作動薬（消化管領域）	RQ-00000010	CJ 第一製糖株式会社（韓国）	韓国、中国、台湾、インド、東南アジア

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（4）世界に展開するパートナーシップ

ライセンスパートナー



Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（5）株式会社AskAtの会社概要



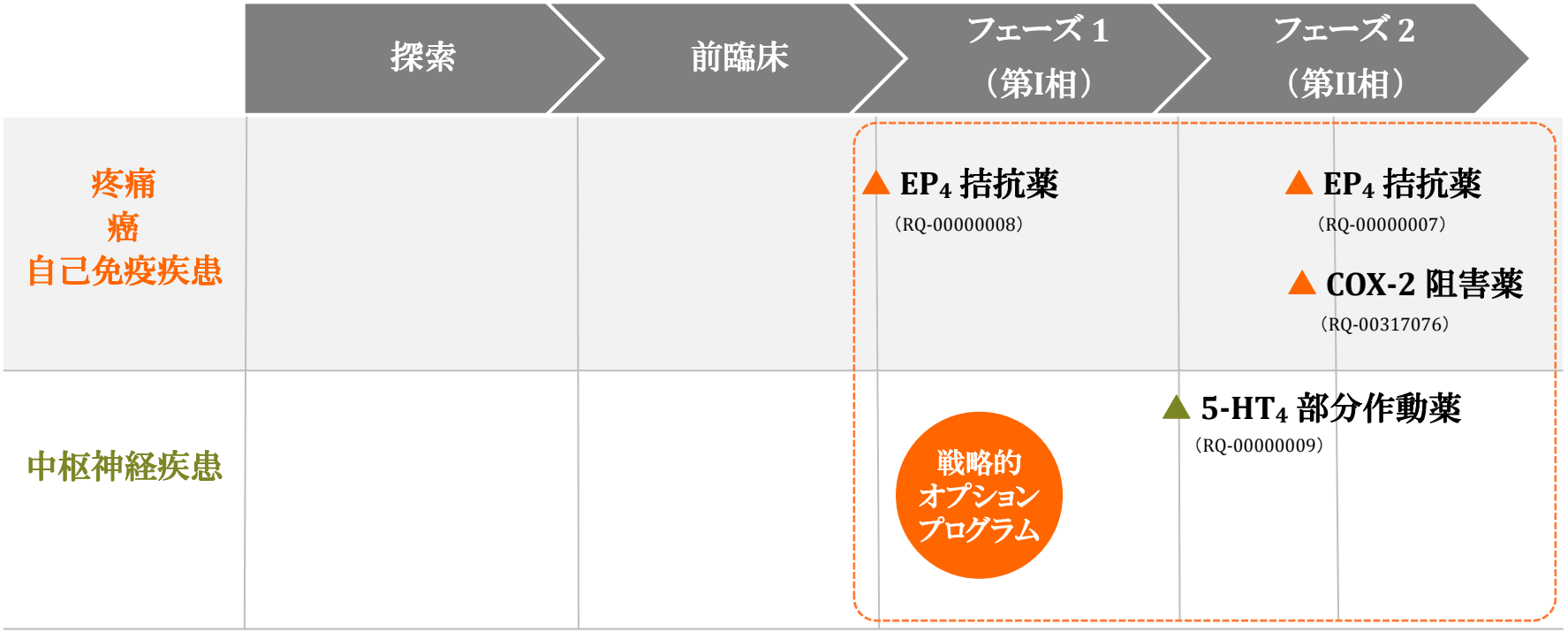
株式会社AskAtの会社概要

住所	愛知県知多郡武豊町字5号地2番地
代表者	代表取締役　小泉　信一
事業内容	医薬品及び健康関連商品の研究開発、販売、使用許諾、コンサルティングと付帯関連する一切の業務
従業員数	4名
資本金	1百万円
設立日	平成25年度1月7日
事業モデル	外部リソース（公的資金、ファイナンス等）を活用し、プログラムの開発を加速、プログラムの価値を上げ、将来的な収益を獲得

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（6）株式会社AskAtの主な研究開発ポートフォリオの状況 - 導出候補プログラムとステージ

2013年2月現在



Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

ラクオリアの「強み」と「魅力」

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（1）充実した消化管疾患領域のポートフォリオ

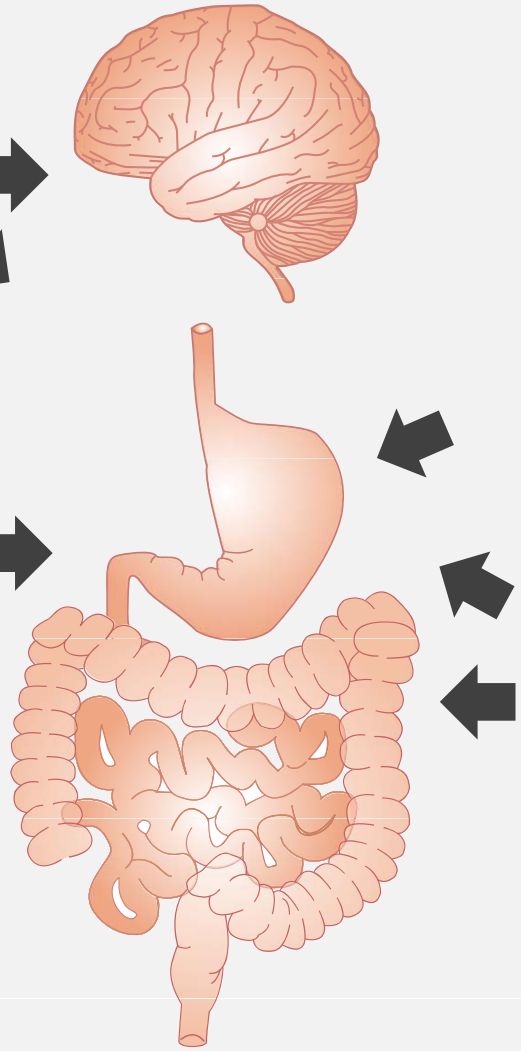
食欲及び消化管運動亢進
– グレリン受容体作動薬
（RQ-5）

胃酸分泌抑制
– アシッドポンプ 拮抗薬
（RQ-4）

空腹期消化管運動正常化
– モチリン受容体作動薬
（RQ-201894）

消化管運動全般亢進
– セロトニン受容体
5-HT$_4$ 部分作動薬
（RQ-10）

内臓痛の改善及び
消化管運動正常化
– セロトニン受容体
5-HT$_{2B}$ 拮抗薬
（RQ-310941）



Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

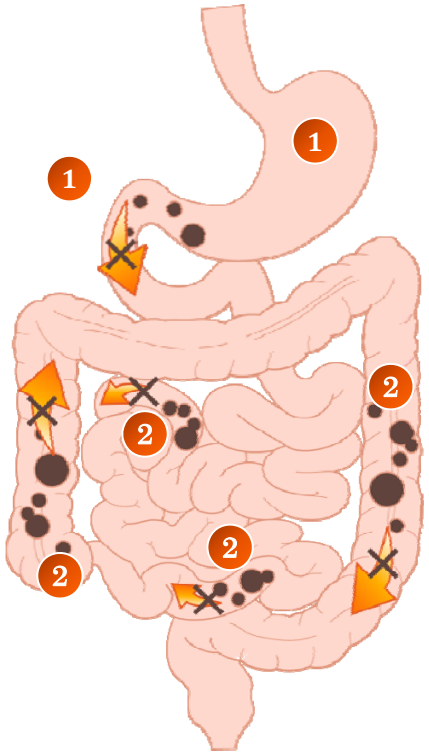
（2）5-HT$_4$部分作動薬（RQ-00000010）
英国で臨床第I相試験（投与完了、データ解析中）

薬のアイデア ▼ 化合物決定 ▼ 臨床試験開始 ▼ コンセプト確認 ▼ 行政への申請 ▼ 発売

探索 → 前臨床 → フェーズ1（第Ⅰ相） → フェーズ2（第Ⅱ相） → フェーズ3（第Ⅲ相） → 承認審査

- 消化管運動機能に重要な役割を果たし、市場実績があるセロトニン受容体の一つ（5-HT$_4$）が標的である
- ①胃運動機能、②小腸・大腸運動機能に関連し有望な治療薬となる可能性を持つ（右図）
- 非臨床段階で実施した動物試験では、かつて米国で年間10億ドル以上（1999年）の一大市場を築いた5-HT$_4$作動薬・シサプリドより1万倍強い薬理活性と高い安全性を確認した
- 日本市場で年間212億円（2011年度）の売上げを持つ5-HT$_4$作動薬・モサプリドより強い薬効と高い安全性が期待されている
- 本化合物の安全性・忍容性ならびに薬物動態を確認するための臨床第I相試験で被験者への投与が問題無く終了。併せて胃排出能への効果も確認し、期待通りの強い薬効と高い安全性を認識している（最終データ解析・確認中）

消化管運動機能の改善



1 胃運動機能の改善
- 機能性ディスペプシア
- 胃不全麻痺

2 小腸および大腸運動機能の改善
- 機能性便秘
- 便秘型過敏性腸症候群
- 術後腸閉塞

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

（3）“イオンチャネル”ターゲット

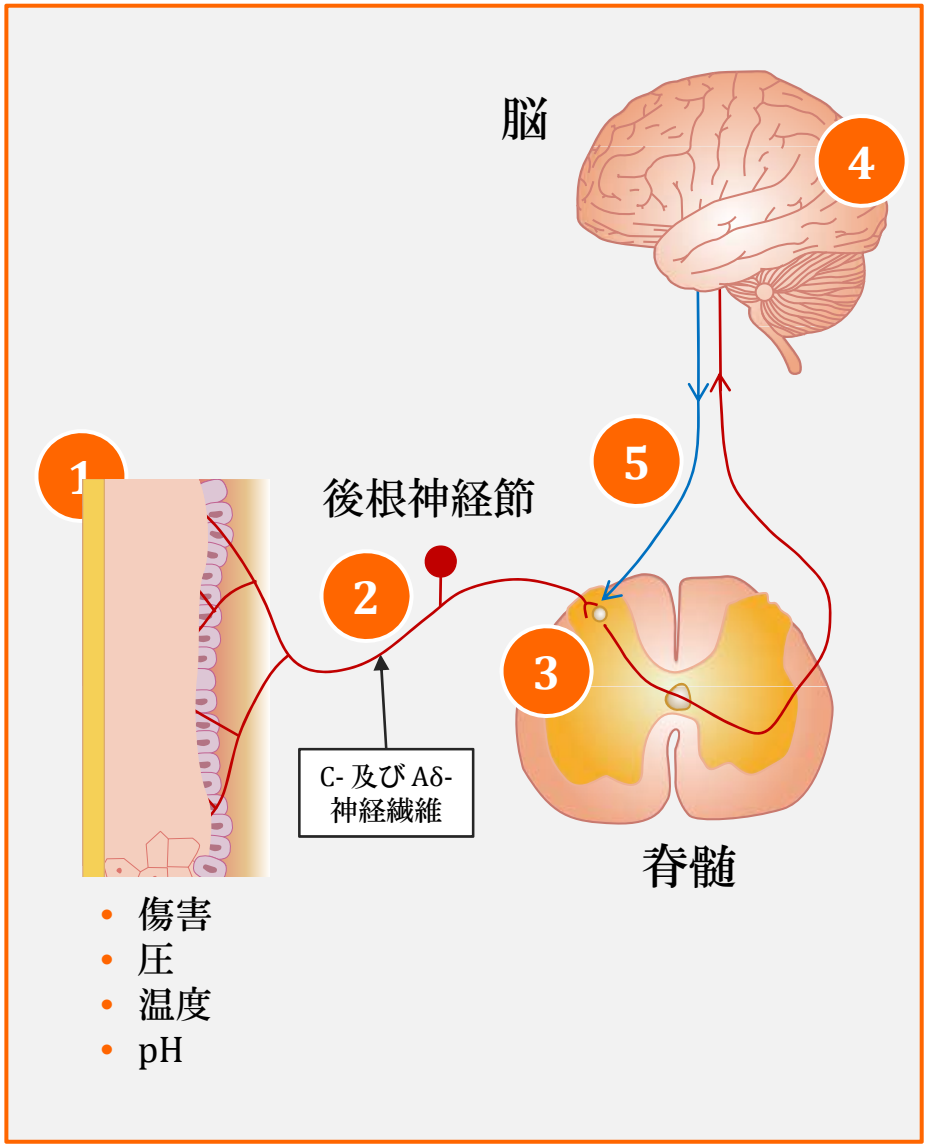
1 末梢神経の感作
- TRPM8
- TPRV4
- TRPM2
- ASIC3
- TREK1

2 痛みの末梢での伝達
- Nav1.3
- Nav1.7
- T-Ca

3 痛みの末梢から中枢への伝達
- N-Ca
- GlyRa3
- KCC2

4 痛みの受容、中枢での感作
- ASIC1a

5 痛みの下方伝達
- GIRK1/2



Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（4）創薬力

当社の強みを活かした創薬力強化による将来的な事業収益の獲得

当社の強み

- 当社は38万のライブラリー化合物の保有によるHigh Through-put Screening（HTS）が可能
- イオンチャネルの活性評価に精通した高度な技術を有する豊富な研究員
- 浜松ホトニクス社とのイオンチャネル活性測定機器の共同開発
- 「消化管疾患領域」と「疼痛領域」に精通

創薬力強化による将来的な収益の獲得

- 「プロジェクト Reborn 90」の中で、研究プロジェクトの「選択と集中」を行うことで、開発候補化合物の創出が加速されることを目指します。特に、当社の「強み」であるイオンチャネルを標的分子とした創薬研究は資源を集中して研究を進めていきます。
- 当社のイオンチャネルに対する創薬力はこれまでに高く評価され、その結果として、米国イーライリリー社、味の素製薬社との間でイオンチャネルの共同研究契約を締結しております。
- 今後、イオンチャネルの創薬力をより強化し、複数企業と共同研究契約の締結を目指すとともに、自社でも新たな開発候補化合物の創出を進めていきます。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（5）探索研究技術

- 化合物ライブラリー
  - 380,000の低分子化合物を保有
  - 継続的なライブラリー化合物の拡充



- 化合物合成
  - 化合物の精製および分析の自動化システムを確立
  - 週150化合物の合成が可能



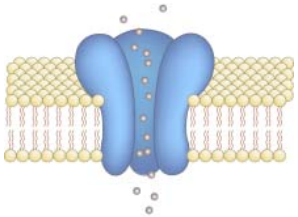
- スクリーニング
  - HTSが可能なORCAロボットシステムを導入
  - 多次元的な化合物の最適化
    - » 探索初期段階でADMET および 安全性薬理の評価を実施

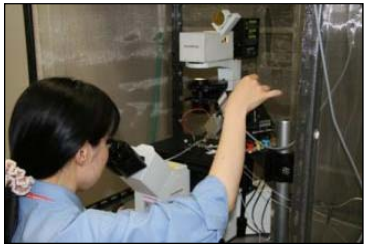


Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（6）イオンチャネルに対する創薬研究技術

- 電気生理試験
  - 安定発現細胞株および一過的発現細胞
  - 初代培養細胞（e.g.,後根神経節細胞）
  - 組織切片
  - 麻酔動物 （e.g.,異所性発火に対する評価）





- 実施可能なイオンチャネルターゲット
  - リガンド開口型イオンチャンネル
    - » TRPs, ASICs, P2Xs, NMDA etc.
  - 電位依存性イオンチャンネル
    - » Ca^{2+}, Na^{+}, K^{+}



- 技術開発
  - 浜松ホトニクス社と電位依存性イオンチャネル測定装置を共同開発



Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

導出済みポートフォリオの状況

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

（1）ジプラシドン/ Meiji Seika ファルマ株式会社

ヒト 新規医療用医薬品

ジプラシドン / Meiji Seikaファルマ株式会社

適応症	：	統合失調症および双極性障害
対象市場	：	日本国内
進捗状況	：	計画通りの順調な進捗を示しております。 • Meiji Seika ファルマ社による、国内 第II相臨床試験を2012年末までに終了し、現在はデータ解析および総括試験報告書を作成中 • Meiji Seika ファルマ社による、国内 第III相臨床試験 計画中
具体的施策	：	• 今後のマイルストーン収益およびロイヤルティ収益の想定獲得時期の確度を向上させると共に、これらの収益の早期獲得を目指しての効率良い業務マネジメントにおいて尽力します。 • 当社は、日本の開発に必要とされる、米国ファイザー社が実施した試験の情報入手に務め、引き続きMeiji Seika ファルマ社への提供を行うことにより、Meiji Seika ファルマ社における円滑な開発遂行に尽力します。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

（2）アシッドポンプ拮抗薬（RQ-00000004）/ CJ 第一製糖株式会社

ヒト 新規医療用医薬品

アシッドポンプ拮抗薬（RQ-00000004）/ CJ 第一製糖株式会社

適応症	：	逆流性食道炎
対象市場	：	韓国および中国（台湾および香港を含む）
進捗状況	：	計画通りの順調な進捗を示しております。 • CJ社による、韓国 第I相臨床試験を終了（2012年12月） 現在はデータ解析を終え、総括報告書作成中 また、第I相試験の一環として、食事の影響検討試験を開始（2013年1月） • CJ社による、韓国 第II相臨床試験開始予定
具体的施策	：	• 今後のマイルストーン収益およびロイヤルティ収益の想定獲得時期の確度を向上させると共に、これらの収益の早期獲得を目指して、効率良い業務マネジメントにおいて尽力します。 • 当社が有する消化器系疾患の医学的知見ならびに医薬品開発におけるノウハウを基に、CJ社による臨床試験デザインへ的確な助言を行い、CJ社における円滑な開発戦略構築・遂行、ならびにグローバル展開へと尽力します。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

（3）5-HT$_4$部分作動薬 （RQ-00000010）/ CJ 第一製糖株式会社

ヒト 新規医療用医薬品

5-HT$_4$部分作動薬 （RQ-00000010）/ CJ 第一製糖株式会社

適応症	：	適用可能な全ての消化器疾患（胃食道逆流症、機能性消化管障害など含む）
対象市場	：	韓国、中国（台湾および香港を含む）、インド、ならびに東南アジア諸国（11カ国）
進捗状況	：	計画通りの順調な進捗を示しております。 • 当社における英国 第I相臨床試験を終了（2012年10月末）し、データ解析および総括報告書の作成が進行中 • CJ社による、原薬製造検討、製剤設計および前臨床試験 実施中 • CJ社による 韓国 第I 相臨床試験 準備中
具体的施策	：	• 今後のマイルストーン収益およびロイヤルティ収益の想定獲得時期の確度を向上させると共に、これらの収益の早期獲得を目指しての効率良い業務マネジメントにおいて尽力します。 • 当社が実施した英国第 I相臨床試験の試験成績、ならびに当社が有する消化器系疾患の医学的知見を基に、CJ社による臨床試験デザインへ的確な助言を行い、CJ社における円滑な開発戦略構築・遂行、ならびにグローバル展開へと尽力します。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

（4）EP4拮抗薬（RQ-00000007）/ 丸石製薬株式会社

ヒト 新規医療用医薬品

EP4拮抗薬（RQ-00000007）注射剤/ 丸石製薬株式会社

適応症	：	急性および慢性炎症性疼痛
対象市場	：	日本国内、韓国、中国、台湾
進捗状況	：	非臨床段階にあります。 • 開発戦略および開発計画を構築中
具体的施策	：	• 当社が有する医学的および研究開発における知見を基に、丸石社による開発戦略および計画の策定に対して、引き続き支援します。これらの支援のため、連絡協議会を開催予定です。 • 開発当社における今後のマイルストーン収益およびロイヤルティ収益の早期獲得を目指し、効率良い業務マネジメントにおいて尽力します。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

（5）グレリン受容体作動薬（RQ-00000005）/ Aratana社

動物用医薬品

グレリン受容体作動薬（RQ-00000005）/ Aratana Therapeutics, Inc.

適応症	：	動物における神経性食欲不振症、悪液質、体重減少
対象市場	：	全世界
進捗状況	：	計画通りの順調な進捗を示しております。 • Aratana社による、原薬予備合成を完了 • Aratana社による、フィールドスタディーを計画中
具体的施策	：	• 今後のマイルストーン収益およびロイヤルティ収益の想定獲得時期の確度を向上させると共に、これらの収益の早期獲得を目指して、効率良い業務マネジメントにおいて尽力します。 • 当社は、米国ファイザー社が実施した試験の情報入手に務め、引き続きAratana社への提供を行うこと、また開発を推進するAratana社との連携をより強固にすることにより、必要とされる支援を遅滞なく実施するよう引き続き務めます。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

（6）EP4拮抗薬（RQ-00000007）/ Aratana社

動物用医薬品

EP4拮抗薬（RQ-00000007）/ Aratana Therapeutics, Inc.

適応症	：	動物における急性および慢性疼痛
対象市場	：	全世界 【日本および東アジア（韓国・中国・台湾）における注射剤を除く】
進捗状況	：	計画通りの順調な進捗を示しております。 • Aratana社による、動物Proof of Concept 試験を実施中 • Aratana社による、製品用原薬製造が順調に進行中 • INAD申請に関するFDA（CVM）との事前会議を実施（2012年11月）
具体的施策	：	• 今後のマイルストーン収益およびロイヤルティ収益の想定獲得時期の確度を向上させると共に、これらの収益の早期獲得を目指しての効率良い業務マネジメントにおいて尽力します。 • 当社は、米国ファイザー社が実施した試験の情報入手に務め、引き続きAratana社への提供を行うこと、また開発を推進するAratana社との連携をより強固にすることにより、必要とされる支援を遅滞なく実施するよう引き続き務めます。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

（7）共同研究の状況

ヒト 新規医療用医薬品

特定イオンチャネル／Eli Lilly and Company

適応症	：	全ての適応症
対象市場	：	全世界
進捗状況	：	探索研究段階にあります。 • 共同研究契約を延長 • 毒性試験を実施する複数の候補化合物を同定し、開発候補化合物を創出予定
具体的施策	：	• 開発候補化合物の特定ならびに創出に向けて当社の役割を確実に遂行すること。 • 今後のマイルストーン収益の確実な獲得を目指して当社における効率良い業務マネジメントにおいて尽力します。 • 共同研究チームにより、Eli Lilly社と綿密な連携を取ってプロジェクトを進めていきます。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

（8）共同研究の状況

ヒト 新規医療用医薬品

特定イオンチャネル / 味の素製薬株式会社

適応症	：	全ての適応症
対象市場	：	全世界
進捗状況	：	探索研究段階にあります。 • 共同研究契約を締結（2012年10月） • 開発候補化合物創出に向け、共同研究を開始
具体的施策	：	• 開発候補化合物の特定に向けた当社の役割を確実に遂行すること。 • 今後のマイルストーン収益の確実な獲得を目指しての当社における効率良い業務マネジメントにおいて尽力します。 • 共同研究チームにより、味の素製薬社と綿密な連携を取ってプロジェクトを進めていきます。

ご注意：本資料は、投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行われる際には、投資家ご自身で判断していただくようお願いいたします。また、本資料最終頁末尾の留意事項を必ずご参照ください。
Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2012

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
  リスクや不確実性は、特に製品（研究開発プログラムおよび化合物）に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制当局からの承認取得、国内外の医療保険制度改革、医療費抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013

RaQualia
innovators for life

お問合せ先

TEL：0569-84-0700
（音声ガイダンス：「#5」 IRを選択）
E-mail：当社HPからお願いいたします。
http://www.raqualia.co.jp

ラクオリア創薬株式会社

Copyright RaQualia Pharma Inc. All Rights Reserved. 2013